

 このテストのゴール: 「している側ならing・される側なら過去分詞」で名詞を説明できる
記入式。正しい形を自分で作って書きます。まちがえた問題は、テストのあとが本番——裏面のふり返しまでで1セットです。

1 ()に正しい形を書こう。※そのままでいい語もある！(各3点・計12点)

(1) 修学旅行のアルバム	The boy()photos is Ken.(take)
(2) 見学した寺	This is a temple()in 1600.(build)
(3) 写真の中の人物	The girl()with Emi is my sister.(talk)
(4) 言語の話(注意！)	French is a language()in Canada.(speak)

2 対話を完成 アルバムを見ながら。()に1語ずつ。(各2点・計6点)

A: Look at this photo(①)at the temple.(take＝撮られた写真)
B: Nice! Who is the boy(②)next to you?(stand＝立っている)
A: That's Riku. And these are sweets(③)in Kyoto.(make＝作られた)

3 自分の番 ing(している側)の文＋過去分詞(される側)の文を1つずつ(2点)

1 場面を選ぶ／正しい形

(1) taking (2) built (3) talking (4) spoken(言語は話される側)

(4)言語は「話す」のではなく「話される」側——意味で選ぶのが分詞の本体。

2 対話を完成

① taken ② standing ③ made

説明が2語以上なので全部名詞の後ろに置かれている(後置修飾)。

3 自分の番(例)

The boy drawing manga is my friend. / This is a cake made by my sister.

内容は自由。文法が正しく、条件を満たしていれば正解にする。

☆採点と使い方 配点=1:各3点／2:各2点／3:2点(計20点)。16点以上=合格ライン、12点未満=定着ドリルの「まちがい診療所」からやり直すのがおすすめ。同じ場面・同じ測る力で基礎・標準・発展の3枚があるので、再テストや個別対応は別の難易度で行えます。